

平成29年度第1回市原地域救急業務マネジメントコントロール協議会議事概要

- ・開催日時 平成29年7月12日（水）17時00分から18時00分
- ・開催場所 市原市消防局 2階講堂
- ・出席者
 - 委員 森脇 龍太郎 帝京大学ちば総合医療センター 救命救急センター 教授
 - 岡嶋 良知 千葉県循環器病センター 診療部長
 - 伊良部 真一郎 千葉労災病院 救急・集中治療部 副部長
 - 福家 伸夫 帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 教授
 - 星野 成司 千葉県防災危機管理部消防課 副課長
 - 大野 一美 千葉県健康福祉部医療整備課医療体制室 室長
 - 鶴岡 弘章 市原市保健福祉部保健福祉課 課長
 - 高澤 重義 市原市消防局 局長
 - オブザーバー 鈴木 昭治 帝京大学ちば総合医療センター 総務課 課長補佐
 - 桃尾 文子 市原市医師会 事務長
 - 穴倉 朋胤 千葉県医師会 救急災害医療担当
 - 伊藤 雅規 市原市消防局 消防総務課 課長
 - 事務局長 天野 正次 消防局警防救急課 課長
 - 事務局 大園 雄一 消防局警防救急課 課長補佐
 - 時田 光浩 消防局警防救急課 救急救命係長
 - 佐瀬 祐一 消防局警防救急課 救急救命係 副主査
 - 渡邊 智史 消防局警防救急課 救急救命係 主任
 - 立野 博 消防局警防救急課 救急救命係 主任
- ・欠席委員 川越 一男 市原市医師会理事
- ・議題
 - 【第1号議案】 平成28年度事業報告
 - 【第2号議案】 平成29年度事業計画（案）
 - 【第3号議案】 平成29年度事後検証医師（案）
 - 【第4号議案】 市原市救急活動プロトコールの改正について
 - 【第5号議案】 指導救命士の認定要件について

1. 開 会

→事 務 局：資料確認

2. 委員（出席者）紹介

3. 会長選出

→事 務 局：市原市附属機関設置条例第2条の規定に基づき平成29年3月31日をもって、前任委員の委嘱期間が満了し、平成29年4月1日付けで委員を新たに委嘱したことに伴い、同条例第3条第1項の規定に基づき市原地域救急業務メディカルコントロール協議会会長を選出いたします。自薦、他薦を問いませんので御意見ございますでしょうか。

→高澤委員：千葉労災病院の森脇医師を推薦いたします。

森脇医師は平成22年4月から市原地域救急業務メディカルコントロール協議会委員に着任され、また、救急症例検討会にお越しいただき、貴重な助言・指導を頂いております。更には、本市の救急活動プロトコールに精通され、本年度から帝京大学ちば総合医療センター救命救急センター教授に就任されていることから、森脇医師を推薦いたします。

→福家委員：最高の人選だと思いますので賛成です。

→事 務 局：高澤委員及び福家委員の2名から推薦があり、他に意見が無いことから、市原地域救急業務メディカルコントロール協議会会長を帝京大学ちば総合医療センター救命救急センター教授森脇龍太郎医師にお願いしたいと思います。

賛成の方は挙手をお願いいたします。

～ 全委員賛成 ～

→事 務 局：出席した委員全員賛成で、帝京大学ちば総合医療センター救命救急センター教授森脇龍太郎医師を、市原地域救急業務メディカルコントロール協議会会長といたします。

→森脇会長：過大な評価を頂きありがとうございます。身に余る評価ではございますが叱咤激励と受け止め、会長職を受けさせていただきます。

今年も色々な所で災害が発生し、気にすべき事も多々ある中で、我々は常に多種多様な災害に対処していかなければならない。

全ては傷病者のため、市民のためであるので、市原地域救急業務メディカルコントロール協議会も、より一層頑張らなければならぬと感じています。

今日も何点か議題に挙げられているところですので、活発な意見をお願いいたします。

→事 務 局：ありがとうございました。ここで、御報告とお願いがございます。

市原市附属機関設置条例第5条第2項の規定により、委員の半数以上の出席をいただきましたので、本会議が開催できますこと、また、市原市情報公開条例第33条の規定による会議の公開による傍聴者は居ないことを報

告いたします。

次に、議事録を取る都合上、会議の内容を録音させていただきます。恐れ入りますが、御発言の際は所属と御名前を述べてから発言して頂きますようお願いいたします。

では、議事審議に移らせていただきます。以降の進行を、市原市附属機関設置条例第5条第1項の規定に基づき、森脇会長を議長とし進行をお願いいたします。

4. 議事内容

→森協議長：第1号議案及び第2号議案は同様の内容となりますので、併せての審議とします。

【第1号議案】平成28年度事業報告

1. 協議会開催：2回／年

(1) 平成28年度第1回協議会

平成28年5月31日（火）17：00～市原市急病センター2階会議室
議題

第1号議案 平成27年度事業報告

第2号議案 平成28年度事業計画（案）の承認に関する件

第3号議案 平成28年度事後検証医の承認に関する件

第4号議案 指導的立場の救急救命士について

第5号議案 救急搬送患者に対する協力について

(2) 平成28年度第2回協議会

平成29年2月8日（水）17：00～市原市急病センター2階会議室
議題

第1号議案 救急活動プロトコール改正（案）の承認に関する件

2. 医師による事後検証：186件／年

(1) 検証事案内訳：C P A事案	82症例
重症事案（C P A事案を除く）	80症例
中等症事案（C P A事案を除く）	22症例
軽症事案	2症例

(2) 平成28年度事後検証医8名 ※敬称略

福家 伸夫	(帝京大学ちば総合医療センター・集中治療)
志賀 英敏	(帝京大学ちば総合医療センター・救急)
横井 健人	(帝京大学ちば総合医療センター・集中治療)
森脇 龍太郎	(千葉労災病院・救急)
小沢 義典	(千葉労災病院・脳神経外科)
川越 一男	(五井病院・外科)
林 永規	(千葉県循環器病センター・消化器外科)
岡嶋 良知	(千葉県循環器病センター・小児科)

3. 救急救命士病院研修

(1) 就業前研修（新規養成者研修）

期 間：平成28年5月9日（月）～平成28年6月16日（木）

実習医療機関：帝京大学ちば総合医療センター

対象者：1名

氏 名：滝澤 豊

※29日間（232時間）のカリキュラム（薬剤投与病院実習を含む）で実施

(2) 就業後研修（生涯研修）

【平成28年度救急救命士生涯研修実施結果】

期 間：平成28年6月1日（水）～平成29年3月24日（金）

実習医療機関：帝京大学ちば総合医療センター

対象者：45名 うち64時間／年 2名

56時間／年 1名

48時間／年 3名

40時間／年 2名

32時間／年 37名

※市原市消防局救急救命士等病院研修実施要領の規定により、それぞれ実績に応じた減免及び免除9名

(3) 気管挿管病院実習【未実施】

※平成21年度より実習中断中

(4) 気管挿管認定救急救命士の再教育（病院実習）：対象者4名

就業後研修（生涯研修）のうち2日間手術室での実習4名

※実習医療機関：帝京大学ちば総合医療センター

4. 救急症例検討会：8回実施 延べ644人参加

(1) 第51回 平成28年6月22日（水）14：00～16：00

場 所：ゼットエー武道場 会議室

参加者：81名

講 師：帝京大学ちば総合医療センター 教授 福家 伸夫

千葉労災病院 救急・集中治療部 部長 森脇 龍太郎

- (2) 第52回 平成28年7月29日(金) 14:00～16:00
場 所：市原市立国分寺公民館 会議室
参加者：80名
講 師：帝京大学ちば総合医療センター 教授 福家 伸夫
千葉労災病院 救急・集中治療部 部長 森脇 龍太郎
千葉労災病院 恩田医師
- (3) 第53回 平成28年8月31日(水) 14:00～16:00
場 所：ゼットエー武道場 会議室
参加者：72名
講 師：千葉労災病院 救急・集中治療部 部長 森脇 龍太郎
千葉労災病院 研修医 庄司 達朗
- (4) 第54回 平成28年9月29日(木) 14:00～16:00
場 所：ゼットエー武道場 会議室
参加者：77名
講 師：帝京大学ちば総合医療センター 教授 福家 伸夫
千葉労災病院 救急・集中治療部 部長 森脇 龍太郎
千葉労災病院 研修医 栗原 滉平
- (5) 第55回 平成28年10月26日(水) 14:00～16:00
場 所：市原市民会館 第1・2会議室
参加者：72名
講 師：千葉労災病院 救急・集中治療部 部長 森脇 龍太郎
千葉労災病院 研修医 安西 永理佳
- (6) 第56回 平成28年11月28日(月) 14:00～16:00
場 所：市原市民会館 大会議室
参加者：112名
講 師：千葉労災病院 救急・集中治療部 部長 森脇 龍太郎
- (7) 第57回 平成29年1月30日(月) 14:00～16:00
場 所：市原市市民会館 大会議室
参加者：75名
講 師：帝京大学ちば総合医療センター 教授 福家 伸夫
千葉労災病院 救急・集中治療部 部長 森脇 龍太郎

(8) 第58回 平成29年2月28日(火) 14:00～16:00

場 所：市原市市民会館 大会議室

参加者：75名

講 師：帝京大学ちば総合医療センター 教授 福家 伸夫

千葉労災病院 救急・集中治療部 部長 森脇 龍太郎

5. 外傷セミナー (JPTEC プロバイダーコース・JPTEC プロバイダー更新コース)

(1) JPTEC プロバイダーコース (新規養成コース)

第12回 日 時：平成28年11月5日(土) 8:30～19:00

場 所：千葉労災病院 外来棟4階大会議室

受講者：26名 (消防職員：10名 医師：5名 看護師：11名)

講 師：千葉労災病院 救急・集中治療部 部長 森脇 龍太郎

(2) JPTEC プロバイダー更新コース

第13回 日 時：平成28年7月17日(土) 13:00～17:00

場 所：千葉労災病院 外来棟4階大会議室

受講者：13名 (消防職員：12名 医師：1名)

講 師：千葉労災病院 救急・集中治療部 部長 森脇 龍太郎

第14回 日 時：平成29年1月28日(土) 13:00～17:00

場 所：千葉労災病院 外来棟4階大会議室

受講者：12名 (消防職員：10名 看護師：2名)

講 師：千葉労災病院 救急・集中治療部 部長 森脇 龍太郎

6. 気管挿管認定・薬剤投与認定救急救命士の再教育

(1) 気管挿管認定救急救命士 4名

(2) 薬剤投与認定救急救命士 43名

(薬剤投与認定を受けていない救急救命士2名を除く)

※ いずれも就業後研修(生涯研修)として、帝京大学ちば総合医療センター
で実施

7. AED講習(包括的指示下の除細動講習)

日 程：平成28年5月27日(金)～平成29年2月29日の期間

場 所：市原市消防局各所属

受講者：26名(消防隊員)

講 師：各所属上席救急救命士

8. 救急救命士処置範囲拡大2行為追加講習(3日間)

- (1) 日 時：平成28年6月27日（月）8：30～17：00（講義）
平成28年6月28日（火）8：30～17：00（実技）
平成28年6月29日（水）8：30～17：00（実技）
- (2) 会 場：千葉県循環器病センター2階多目的ホール
- (3) 受講者：19名（薬剤認定救急救命士）
- (4) 講 師：福家 伸夫 医師（帝京大学ちば総合医療センター）
岡嶋 良知 医師（千葉県循環器病センター）
加賀谷 浩基 医師（千葉県循環器病センター）
森脇 龍太郎 医師（千葉労災病院）
伊良部 真一 医師（千葉労災病院）

【第2号議案】平成29年度事業計画（案）

1. 協議会開催：2回／年

(1) 平成29年度第1回協議会

平成29年7月12日（水）17：00～

市原市消防局講堂にて開催

(2) 平成29年度第2回協議会 平成30年2月頃開催予定

2. 医師による事後検証：最大186件実施予定

3. 救急救命士病院研修

(1) 就業前研修（新規養成者研修）：1名

清田 達也：平成29年5月22日（月）～平成29年6月30日（金）

※29日間（232時間）のカリキュラム（薬剤投与病院実習を含む）

(2) 就業後研修（生涯研修）：43名（1名当り32～56時間／年）

期 間：平成29年6月6日（月）～平成30年3月下旬

※ ポイント制により減免あり

※ 市原市消防局救急救命士等病院研修実施要領の規定により、それぞれ実績に応じた免除者9名

【救急救命士病院外研修実施状況】（資料4参照）

平成28年度病院外研修状況	43名
（内訳）32ポイント取得	41名
24ポイント取得	1名
16ポイント取得	1名

(3) 気管挿管病院実習：調整依頼中＜待機者38名＞

4. 救急症例検討会：6月～3月（8回開催予定）

(1) 第1回救急症例検討会 平成29年6月23日（金）

場 所：市原市消防局 講堂

講 師：帝京大学ちば総合医療センター 救命救急センター

教授 森脇 龍太郎

助言者：千葉労災病院 救急集中治療部

高村 卓志 医師

(2) 第2回救急症例検討会 平成29年7月28日（金）

場 所：市原市消防局 講堂

講 師：帝京大学ちば総合医療センター 救命救急センター
教授 森脇 龍太郎

(3) 第3回救急症例検討会 平成29年8月24日(木)

場 所：市原市消防局 講堂

講 師：帝京大学ちば総合医療センター 救命救急センター
教授 森脇 龍太郎

(4) 第4回救急症例検討会 平成29年9月28日(木)

場 所：市原市消防局 講堂

講 師：帝京大学ちば総合医療センター 救命救急センター
教授 森脇 龍太郎

(5) 第5回以降(日時・場所未定)

講 師：帝京大学ちば総合医療センター 救命救急センター
教授 森脇 龍太郎

5. 外傷セミナー(JPTECプロバイダーコース・JPTECプロバイダー更新コース)

(1) JPTECプロバイダー(新規養成)コース：1回/年

日 時：平成29年11月頃開催予定

講 師：帝京大学ちば総合医療センター 救命救急センター
教授 森脇 龍太郎

場 所：市原市消防局 講堂(予定)

(2) JPTECプロバイダー更新コース：2回/年

①日 時：平成29年7月22日(土)

講 師：帝京大学ちば総合医療センター 救命救急センター
教授 森脇 龍太郎

場 所：市原市消防局 講堂

②日 時：平成30年1月頃開催予定

講 師：帝京大学ちば総合医療センター 救命救急センター
教授 森脇 龍太郎

場 所：市原市消防局 講堂(予定)

6. 気管挿管認定・薬剤投与認定救急救命士の再教育

(1) 気管挿管認定救急救命士 3名

(2) 薬剤投与認定救急救命士 41名

(薬剤投与認定を受けていない救急救命士2名を除く)

※いずれも就業後研修(生涯研修)として、帝京大学ちば総合医療センターで実施

7. 脳卒中講演会

(1) 対象者：救急隊員及び消防隊員

(2) 日時・場所：平成30年2月頃・千葉県循環器病センター(予定)

(3) 講師：未定

→森協議長：平成28年度事業報告と平成29年度事業計画について、質問・意見はありますでしょうか。

委員から質問等がないようですので、私から質問させていただきます。

気管挿管の病院実習については、平成21年度から実習中断中となっておりますが、今後の方向性はいかがでしょうか。

→事務局：帝京大学ちば総合医療センターと協議をしているところですが、病院側の人員不足により、実施できていません。今後の見込みも立っていません。

→森協議長：帝京大学ちば総合医療センターも人員不足により実施できていないのが現状です。千葉労災病院さんはいかがでしょうか。

→伊良部委員：気管挿管病院実習については、昨年度の協議会議事の内容を拝見させていただき、市原市の課題であることは、院長も含めて院内で認識はしているところであり、麻酔科医と調整中です。

→岡嶋委員：状況は分かっていますが、人員的には厳しい状況です。引き続き検討させて頂きたい。

→森協議長：基幹3病院とも検討中ということですね。

→岡嶋委員：実施するにあたり、何か使用する書式等がありますか。

→事務局：承諾書については、救命士のほうからインフォームドコンセントを実施しており、定められた用紙を使用しています。

→岡嶋委員：用紙を今度拝見させてください。

→森協議長：では第1号議案及び第2号議案は承認でよろしいでしょうか。

～承認～

【第3号議案】 平成29年度事後検証医師(案)

No.	氏名 (敬称略・50音順)	医療機関名	住 所	TEL	診療科
1	伊良部 真一郎	千葉労災病院	辰巳台東 2-16	74-1111	救急
2	岡嶋 良知	千葉県 循環器病センター	鶴舞 575	88-3111	小児科
3	小沢 義典	千葉労災病院	辰巳台東 2-16	74-1111	脳神経外科
4	川越 一男	五井病院	五井 5155	25-5151	外科
5	志賀 英敏	帝京大学ちば総合 医療センター	姉崎 3426-3	62-1211	救急
6	林 永規	千葉県 循環器病センター	鶴舞 575	88-3111	消化器外科
7	森脇 龍太郎	帝京大学ちば総合 医療センター	姉崎 3426-3	62-1211	集中治療
8	横井 健人	帝京大学ちば総合 医療センター	姉崎 3426-3	62-1211	集中治療

→森脇議長：第3号議案の説明をお願い致します。

→事務局：議事説明

→森脇議長：何か意見ありますでしょうか。

～意見なし～

→森脇議長：では第3号議案は承認よろしいでしょうか。

～承認～

【第4号議案】 市原市救急活動プロトコルの改正について

→森協議長：第4号議案について説明をお願いいたします。

→事務局：千葉県防災危機管理部消防課長から「JRC 蘇生ガイドライン2015」に基づく救急活動プロトコルについて通知があり、これに伴い、当地域の実情に応じた救急活動プロトコルの検討が必要となったことから、下記2点について協議するものです。

1 電気ショックと心肺蘇生法の優先順位について

2 アドレナリン投与のタイミングについて

→森協議長：まずはショックのタイミングについてですが、如何でしょうか。

今までは、しっかりとした胸骨圧迫がなされていない場合は、2分間の胸骨圧迫の後にショックと言うことでしたが、まずはショックが優先ということですがどうでしょう。

→福家委員：実際にAEDがある状態で、ショックを実施しないのは相当なプレッシャーかと思えますし、実際にはAEDが到着まで2分以上かかると思えますので、あまり手技的には変化ないと思えますので、変更しても良いと思えます。

→伊良部委員：ショックファーストに関しては良いと思えますが、フローチャートについては、DNARについて各病院での対応を統一する必要があると思えます。

救急隊の業務の軽減・家族の意向の尊重においてDNARを有効するためにも各基幹病院においても、このプロトコルの内容を周知してもらいたい。

→森協議長：DNARの文言はいつごろから記載されてますか。

→事務局：3年ほど前の改訂の際に国の通知に基づき変更しております。

→福家委員：法律論で決定しようとする、なかなか困難であると思えます。何もしないことにより、後々対応できるようであれば良いと思えます。判断を貫ければ良いと思えます。

→森協議長：この内容はナイーブな面もありますので、慎重に取り扱っていただければと思います。ショックファーストに関してはよろしいでしょうか。

～意見なし～

→森協議長：では、続いて心肺蘇生法の優先順位に関して、事務局説明をお願いいたします。

→事務局：議事説明

→森協議長：各委員の方。いかがでしょうか。

→福家委員：記載のある準救急隊員について説明をお願いします。

→事 務 局：準救急隊員について説明

→福家委員：市原市においては、準救急隊員はいますか。
また、今後養成する予定ですか。

→事 務 局：現状いません。また、養成の予定もありません。

→福家委員：わかりました。

→森協議長：他に意見はありますか。

～意見なし～

→森協議長：では続いて、アドレナリン投与のタイミングについて説明をお願いいたします。

→事 務 局：議事説明

→森協議長：他市の状況としては協議中が多いようですね。

目撃者の有無が今まで有効だったのですが、目撃の有り・無しに関わらず、
薬剤を投与するというのでしょうか。

→事 務 局：色々な環境因子も考慮しての対応となります。

→森協議長：わかりました。他に意見ありますかでしょうか。

→伊良部委員：積極的な救命においては、良いと思います。

→森協議長：他に意見はありますかでしょうか。

～意見なし～

→森協議長：では第4号議案について承認でよろしいでしょうか。

～承認～

【第5号議案】 指導救命士の認定要件について

→森協議長：続いて、第5号議案の説明をお願いいたします。

→事務局：平成29年4月6日付、消第37号千葉県防災危機管理部消防課長から報告依頼のありました「指導救命士の要件について」の要件3及び要件4について、地域MC協議会での検討結果を報告するため、協議するものです。

1 指導救命士要件の要件

(1) 要件3について（特定行為経験）

過去5年において成功施行回数26回を超える者

※平成28年度第1回市原地域MC協議会にて承認済み

(2) 要件4（実習経験）

県の要件に合わせて追加

「救急救命士の資格を有する救急隊員の再教育について」（消防救第38号消防長救急企画室長一部改正通知）による、再教育体制のあり方の中にMC協議会は2年間128時間以上の効果的な教育が実施できるよう体制整備を図り、救急救命士個々の活動実績に応じた再教育に取り組むことが望ましいとされております。

→森協議長：前回承認している案件なので、問題ないと思いますがいかがでしょうか。

～意見なし～

→森協議長：では第5号議案について承認でよろしいでしょうか。

～承認～

→森協議長：以上で本日の全議事を終了いたしました。大変お疲れさまでした。今後とも市原の救急医療のために、皆様には御協力をよろしくお願いいたします。

～閉会～